

平成24年4月6日

資料提供先: 島根県政記者会

お知らせ

# 平成24年度 直轄事業（島根県分）予算概要

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

浜田河川国道事務所	(河川)副所長	<small>みちなか</small> 道中	0855-22-2480
	(道路)副所長	<small>にしこおり</small> 錦織	
出雲河川事務所	副所長	<small>さかもと</small> 坂本	0853-21-1850
松江国道事務所	(改築)副所長	<small>いしかわ</small> 石川	0852-26-2131
	(管理)副所長	<small>よしおか</small> 吉岡	
境港湾・空港整備事務所	副所長	<small>たみや</small> 田宮	0859-42-3145

# 予 算 総 括 表

## 直轄事業(島根県分)

[単位:百万円]

事業別	項目	平成23年度	平成24年度	対前年度比 H23/H24
河 川	一般河川改修事業	8,871	10,963	1.24
	斐伊川 河川工作物等応急対策事業費	61	28	0.46
	総合水系環境整備事業	836	689	0.82
	一般河川改修事業	925	748	0.81
江の川	河川工作物等応急対策事業費	31	0	-
	一般河川改修事業	100	190	1.90
高津川	河川工作物等応急対策事業費	0	8	-
	小 計	10,824	12,626	1.17
道 路	新 直 轄	10,200	6,900	0.68
	改 築	13,027	15,857	1.22
	交 通 安 全 事 業	2,049	2,439	1.19
	電 線 共 同 溝	280	350	1.25
	小 計	25,556	25,546	1.00
港 湾	浜田港	810	1,000	1.23
合 計		37,190	39,172	1.05

上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、交通安全施設等整備事業費(種)、道路維持管理費等がある。  
 一般河川改修事業には、大規模、東日本大震災の教訓を踏まえた「全国防災」の河川津波対策等に係る予算を含む。  
 上記には道路調査費、付帯工事費、受託工事費を除く。  
 上記予算の出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県分を含む。

河川関係事業

# 1. 予算額

(金額単位:百万円)

	事業費	平成23年 (当初)	平成24年	伸率 (H24/H23)
斐伊川	一般河川改修事業費	8,871	10,963	1.24
伊川	河川工物等応急対策事業費	61	28	0.46
川	総合水系環境整備事業	836	689	0.82
	小計	9,768	11,680	1.20
江の川	一般河川改修事業費	925	748	0.81
	河川工物等応急対策事業費	31	0	0.00
	総合水系環境整備事業	0	0	
	小計	956	748	0.78
高津川	一般河川改修事業費	100	190	1.90
	河川工物等応急対策事業費	0	8	
	総合水系環境整備事業	0	0	
	小計	100	198	1.98
	合計	10,824	12,626	1.17

上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費等がある。  
 一般河川改修事業には、大規模、東日本大震災の教訓を踏まえた「全国防災」の河川津波対策等に係る予算を含む。  
 上記予算の出雲河川事務所については、島根県・鳥取県分を含む。

# 事業の概要

## 河川事業【斐伊川】

### 【斐伊川一般河川改修事業】（資料 - 1）

斐伊川放水路事業は、平成24年度完成に向け、開削部において分流堰建設を進捗させるとともに、掘削・護岸等の工事を実施します。また、拡幅部においては引き続き、河道掘削・護岸等を実施します。（資料 - 2, 3）

大橋川改修は、用地買収を進めるとともに、追子地区及び下流部右岸における堤防工事を実施します。また、天神川上流水門の建設に着手します。（資料 - 4）

中海湖岸堤整備は、松江市本庄町野原地先（中海）の湖岸堤整備を実施します。（資料 - 5）

斐伊川本川では、耐震性能照査結果を踏まえて河川堤防の耐震対策を実施します。

### 【斐伊川総合水系環境整備事業】（資料 - 6）

中海及び穴道湖の水環境の改善を目指し、浅場造成及び覆砂等を実施します。

### 【河川工作物関連応急対策事業費】

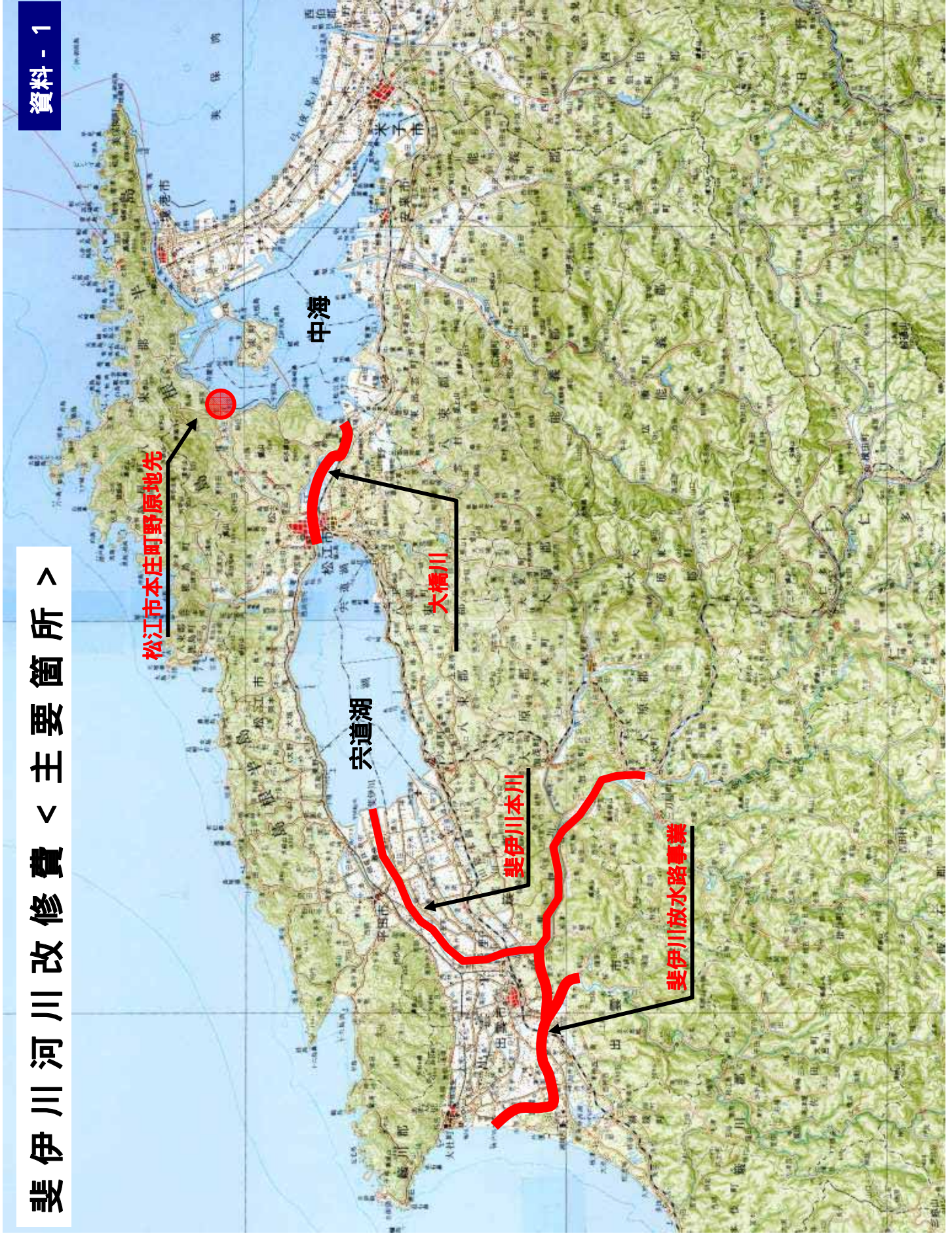
中海周辺において、河川管理施設の樋門の改善を行います。

上記の他、河川及びダムの維持管理を実施します。



# 斐伊川河川改修費 < 主要箇所 >

資料 - 1





# 斐伊川一般河川改修事業【大規模】（斐伊川放水路事業）

資料 - 2

完成予定

## 斐伊川放水路の役割

洪水時に斐伊川の水の一部を神戸川へ分流させることにより、斐伊川 下流部の水位が下がります。また、神戸川の川幅も広くなるので、両河川の安全性が高くなります。

## 斐伊川放水路事業の概要

斐伊川放水路（開削部）

出雲市大津町来原付近から同市上塩冶町半分までの4.1kmの間を、96mの川幅で新たに掘削し、神戸川に合流させます。

神戸川（拡幅部）

合流点から河口までの9kmの間は、神戸川の川幅を平均で現在の約 1.5倍（300～370m）に拡幅します。

主な工事内容

掘削土量が約1,100万 $m^3$ 、築堤土量が約500万 $m^3$ です。橋梁の架け替え・新設は 25橋あり、また、斐伊川分流部の分流堰、神戸堰、新内藤川水門・排水機場等の河川構造物を建設します。

事業にかかわる用地面積は約 322ha、移転家屋は437戸です。



神戸川河口部



国道9号神戸橋及び神戸堰



古志橋付近

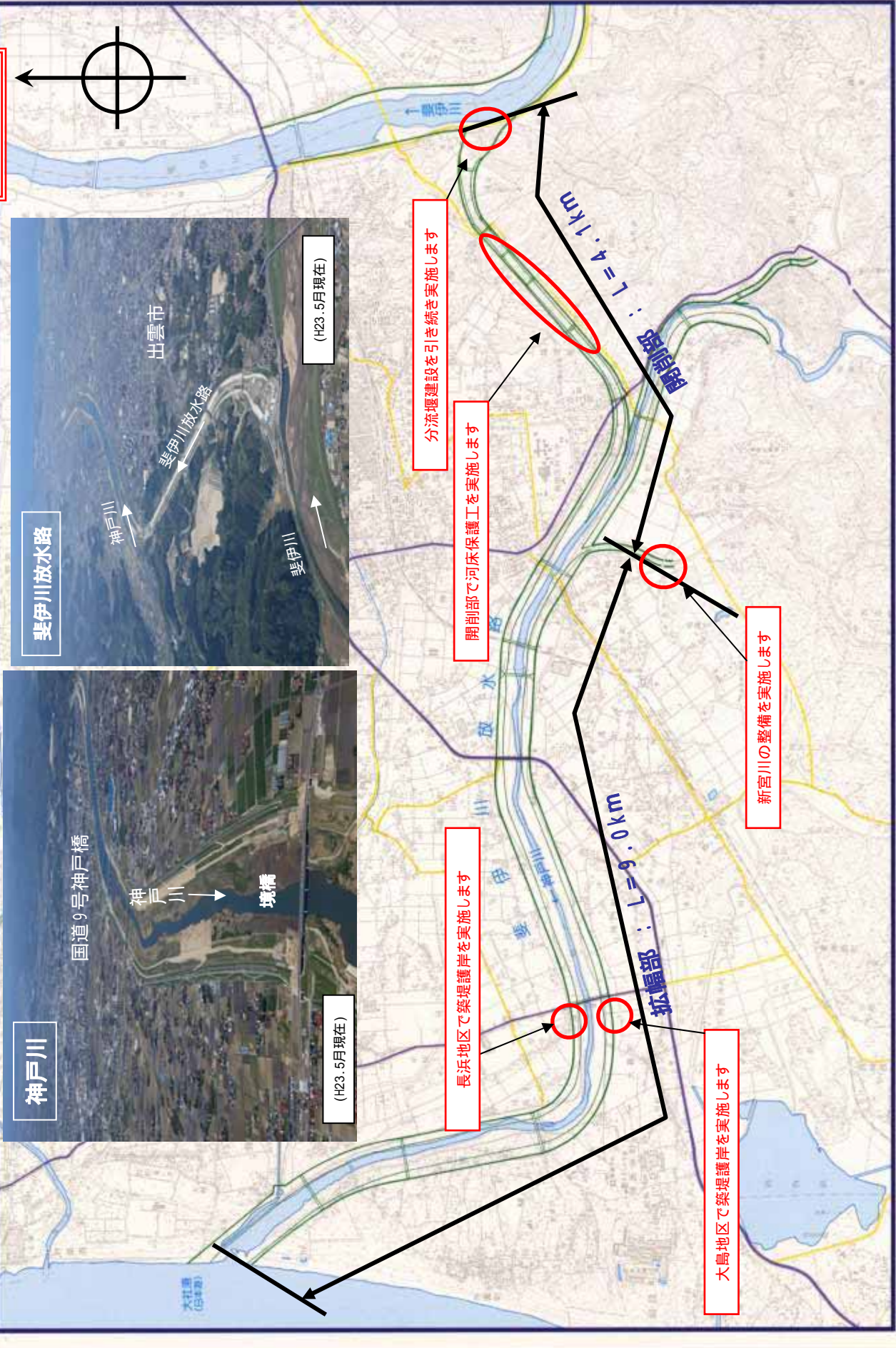


開削部



# 平成24年度 斐伊川放水路事業の主要工事概要

完成予定





# 斐伊川一般河川改修事業(大橋川改修)

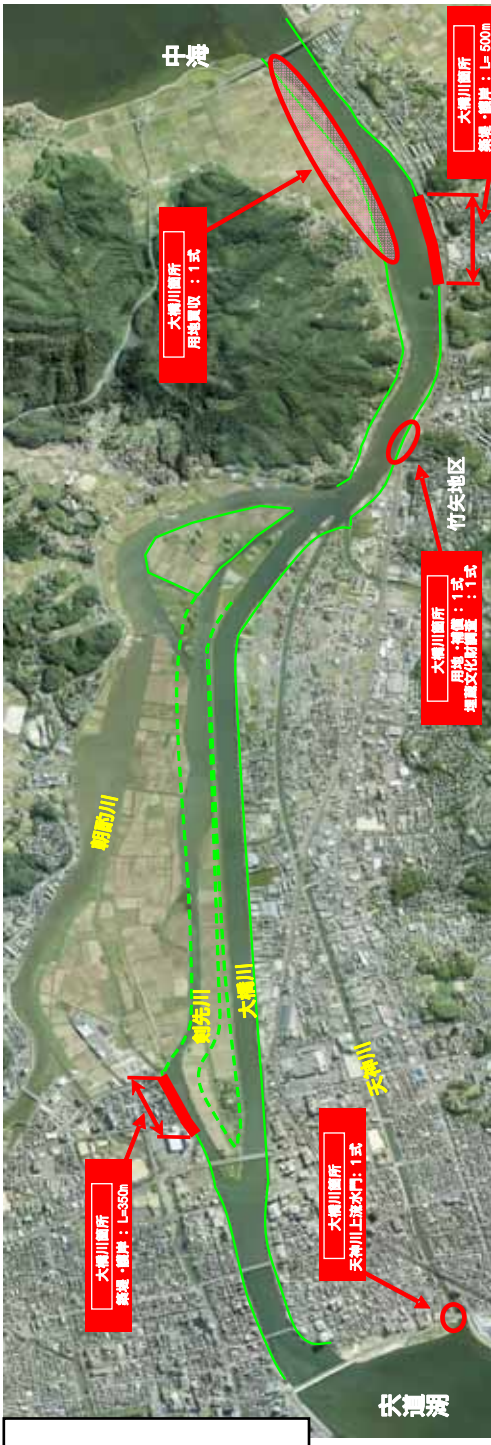
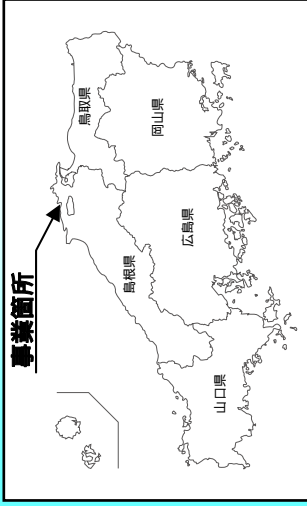
資料 - 4

## 事業の概要

## 事業推進

大橋川を含む宍道湖沿岸では昭和47年、平成18年豪雨により県都松江市の中心市街地が冠水するなど、甚大な浸水被害が発生しました。大橋川改修は、斐伊川治水3点セット(上流のダム建設・中流の放水路建設と本川改修・下流の大橋川改修と湖岸堤整備)の一つであり、平成21年12月に島根・鳥取両県知事の合意により、永年の懸案であった大橋川改修の着工に目処が立ち、平成23年8月に上流の築堤工事に着手しました。

平成24年度は、引き続き築堤・護岸の整備を促進するとともに、下流部の用地補償及び天神川上流の水門建設に着手します。

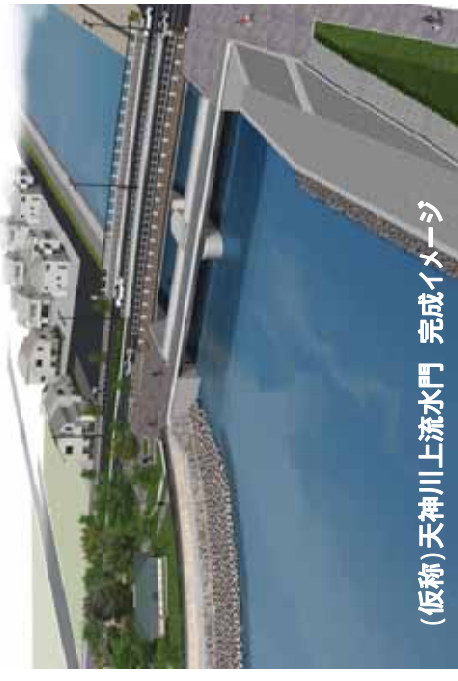


H24年度 大橋川改修の実施予定箇所



## 期待される効果

昭和47年7月や平成18年7月の洪水では宍道湖周辺部をはじめ島根県東部で大きな浸水被害が発生しました。大橋川改修など斐伊川・神戸川治水事業の3点セットにより、これら沿川における洪水被害を軽減します。



# 斐伊川一般河川改修事業（中海湖岸堤整備）

資料 - 5

事業推進

## 湖岸堤整備の概要

中海では近年高潮等による浸水被害が頻発しています。特に平成14年、15年、16年と続いた高潮や越波による浸水被害は、湖岸堤が未整備の箇所において発生しており、当面の対策として、湖岸堤高がHP+1.44m未満かつ、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後に家屋が集積している箇所の湖岸堤整備を優先的に推進します。

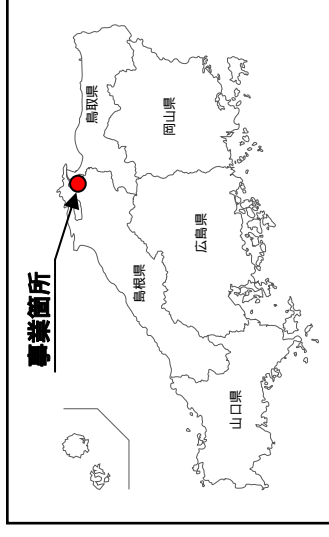
平成24年度は、松江市野原地区（島根県）等において湖岸堤整備を実施します。

## 期待される整備効果

湖岸堤の整備により、観測史上最大の潮位を観測した平成15年の高潮による浸水被害を防止するとともに、台風時期の波浪による越波等の浸水被害を軽減します。



松江市野原地区（島根県）



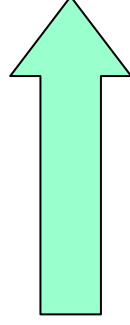
事業箇所



湖岸堤整備前（松江市本庄地区）



湖岸堤の整備状況（松江市本庄地区）





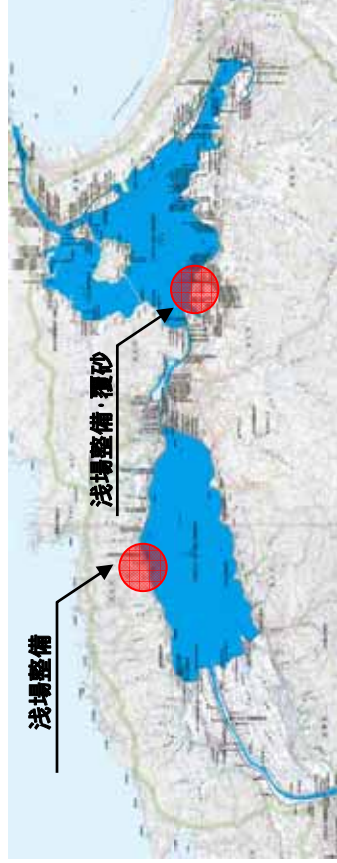
# 斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）

資料 - 6

事業推進

中海・宍道湖 浅場造成・覆砂

## 事業の概要



赤潮発生状況



藻場(コアマモ)



浅場に生息する底生魚

整備(イメージ)

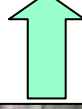


中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流出負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。

そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

## 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。



殆どが人工湖岸である宍道湖や中海の湖岸堤  
(例:宍道湖のコンクリート護岸)



## 河川事業【江の川】

### 【河川改修費】

江の川河川改修事業では、江津市大貫地先において築堤等を推進し、美郷町都賀西地先においては、堤防工事を推進します。（資料 - 7、8）

「土地利用一体型水防災事業」では、江津市川平地先において用地補償を推進する予定です。（資料 - 9）

### 【河川維持修繕費】

直轄管理区間（延長；左岸 9 1 . 3 k m、右岸；7 9 . 3 k m）について、主として堤防除草、護岸補修、樋門操作、河川内樹木伐採、河川巡視等を行います。



# 大貫地先

江津市

資料 - 7

事業推進



大貫地先は無堤部であり、過去たびたび浸水被害を受けています。  
平成24年度は、引き続き築堤による整備を予定しています。







# 都賀西地先

美郷町

## 事業推進

堤防断面が不足していると共に、堤防詳細点検の結果、安全率を満足していない箇所です。  
平成24年度は引き続き続き堤防工事を推進する予定です。

74k200左岸 上流方向







# 土地利用一体型水防災事業

江津市

資料 - 9

事業推進

江の川は中国山地を横断して日本海に注ぐという河川特性から、山間狭あい部を流下しています。このため、河川と急峻な山に挟まれた狭い地区に人家が点在しています。

このような地域を度重なる水害から防御するため、通常の築堤方式とすると、住環境の悪化や貴重な田畑の減少等の弊害が発生します。これらを解消するため、住宅基盤を洪水水位までかさ上げを行うことにより、治水安全度を確保しつつ、狭い土地の有効利用を図る「土地利用一体型水防災事業」により、河川改修を推進しています。

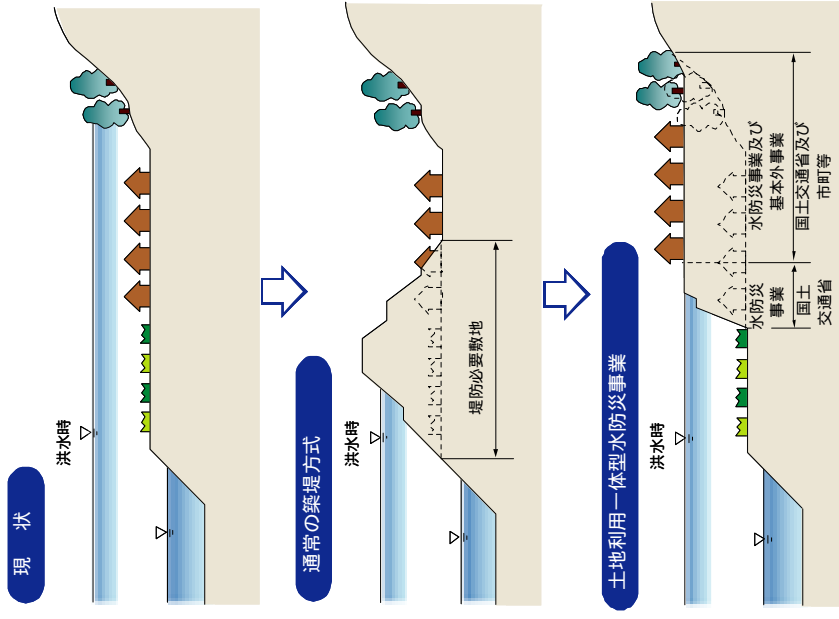
平成24年度は、川平地先において用地補償等を推進する予定です。



事例 島根県邑智郡美郷町吾郷地先



土地利用一体型水防災事業イメージ図



## 河川事業【高津川】

### 【河川改修費】

高津川河川改修事業では、益田市大塚地先において用地補償を推進する予定です。（資料 - 10）

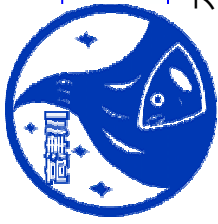
### 【河川維持修繕費】

直轄管理区間（延長20.0km）について、主として堤防除草、護岸補修、樋門操作、河川内樹木伐採、河川巡視等を行います。

### 【河川工作物関連応急対策事業費】

才ノ元排水樋門補修を実施します。





# 大塚地先

益田市

資料 - 10

事業推進

大塚地先は高津川で唯一の無堤箇所であり、過去たびたび浸水被害を受けています。平成24年度は、用地補償等を実施する予定です。



大塚地先

大塚地区

平成17年 台風14号水防活動状況

高津川



道 路 関 係 事 業

# 平成24年度の道路事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業費	平成23年度 (当初)	平成24年度	対前年度比 H23 / H24
新直轄	10,200	6,900	0.68
改築	13,027	15,857	1.22
交通安全事業	2,049	2,439	1.19
電線共同溝	280	350	1.25
合計	25,556	25,546	1.00

上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(種)、道路維持管理費がある。  
 上記には道路調査費、付帯工事費、受託工事費を除く。





# 【松江国道事務所事業】



# 平成24年度 松江国道事務所事業箇所一覧

番号	事業名	延長	供用(完成)・新規事業推進	主な内容	資料番号	備考
	中国横断自動車道 尾道松江線 (県境～吉田掛合C間)	L=12.3km	完成	改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備	資料 - 1	
	一般国道9号 出雲バイパス	L=8.7km	完成	整備工事	資料 - 2	
	一般国道9号 出雲・湖陵道路	L=4.4km	事業推進	用地買収	資料 - 3	
	一般国道9号 湖陵・多伎道路	L=4.5km	新規事業	測量	資料 - 4	
	一般国道9号 多伎・朝山道路	L=9.0km	事業推進	文化財調査、改良、橋梁	資料 - 5	
	一般国道9号 朝山・大田道路	L=6.3km	事業推進	文化財調査、改良、橋梁	資料 - 6	
	一般国道9号 大田・静間道路	L=5.0km	新規事業	測量	資料 - 7	
	一般国道9号 静間・仁摩道路	L=7.9km	事業推進	用地買収	資料 - 8	
	一般国道9号 仁摩・温泉津道路	L=11.8km	事業推進	文化財調査、改良、橋梁、トンネル	資料 - 9	
	一般国道54号 三刀屋拡幅	L=4.1km	事業推進	改良、橋梁	資料 - 10	
	鳥根9号交差点改良等	N=6箇所	新規事業、事業推進	調査設計、用地買収、工事	資料 - 11	
	鳥根54号交差点改良等	N=1箇所	新規事業	調査設計、用地買収、工事	資料 - 11	
	鳥根9号電線共同溝	L=2.87km	完成	電線類地中化	資料 - 11	

# おのちまつえせん 中国横断自動車道尾道松江線

資料 - 1

## 事業概要

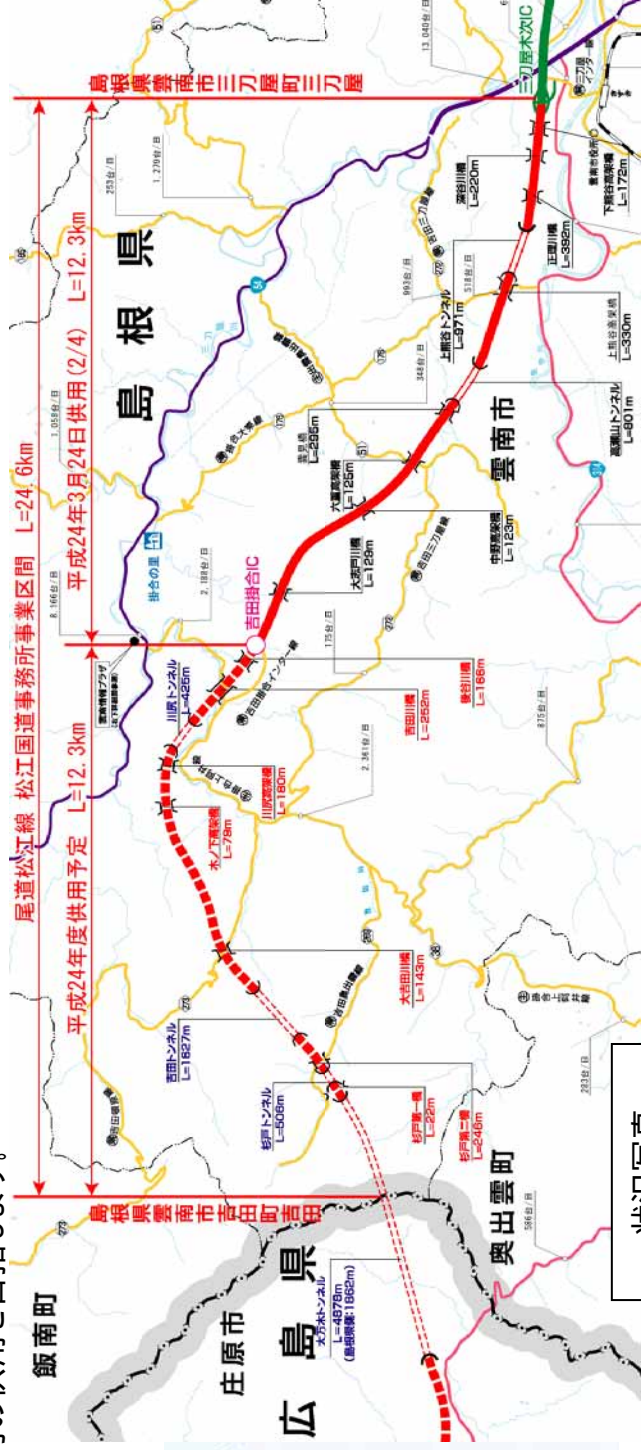
H24:6,900百万円

完成

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を經由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、山陽自動車道から雲南市を結ぶ尾道JCT～三刀屋木次IC間(約110.9km)は、直轄高速方式により整備しています。現在、三刀屋木次IC～吉田掛合IC間(延長12.3km)が供用しており、平成26年度までの全線開通を目指し、改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進しているところです。

このうち平成24年度は広島 - 島根県境～吉田掛合IC間(延長12.3km)については、改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進し、平成24年度内の供用を目指します。

## 事業箇所図



## 状況写真



大万木トンネル



後谷川橋



大吉田地区

至 松江

至 三次

至 松江

至 松江



# いづも 出雲バイパス

資料 - 2

H 2 4 : 8 0 百万円

## 事業概要

出雲バイパスは、一般国道9号の出雲市内の交通渋滞緩和及び交通安全の確保を目的として計画された簸川郡斐川町富村から出雲市芦渡町に至る延長8.7kmの道路です。昭和49年度に事業着手し、平成19年12月、全線について、暫定2車線で供用しました。平成24年度は、出雲市斐川町富村で整備工事を実施します。

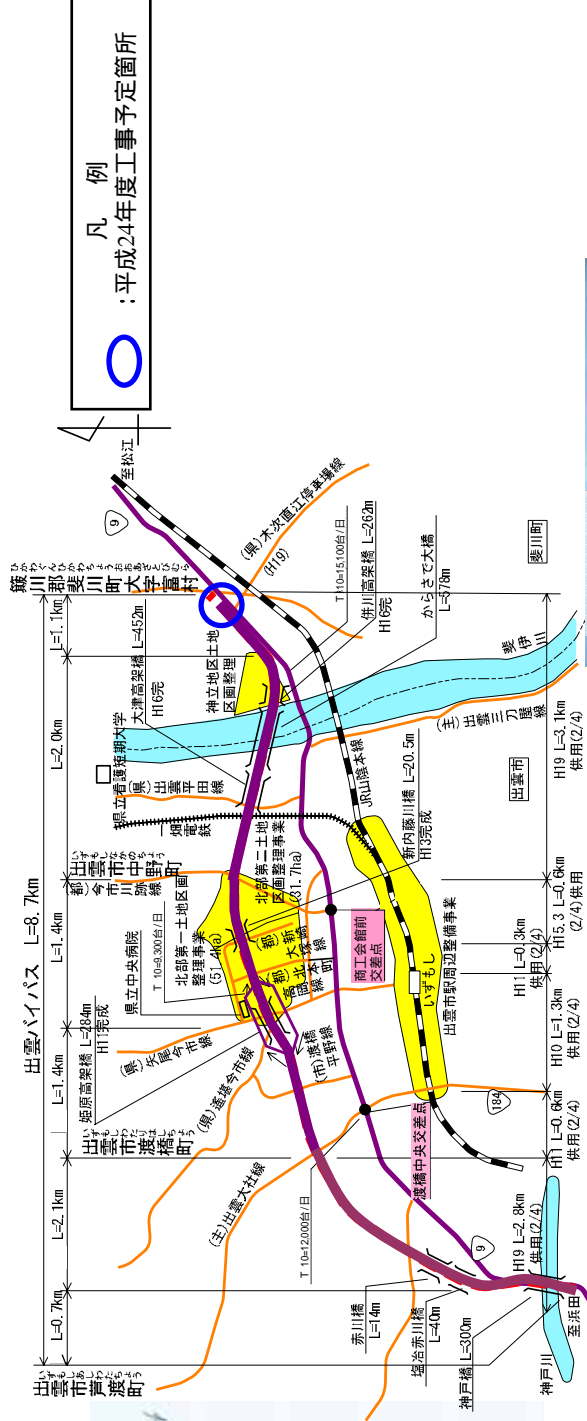
完成

## 事業箇所図



出雲バイパス

## 状況写真



斐伊川上空より西を望む



出雲市渡橋町上空より西を望む

# いずも ことりょう 出雲・湖陵道路

事業推進

資料 - 3

H24:500百万円

## 事業概要

一般国道9号の現道部では、通過車両と生活車両が混在し、県中西部方面から出雲市中心部への流入付近で交通混雑が発生しており、交通事故も多発しています。

交通事故・渋滞の発生により地域の経済活動に多大な支障をきたし、早期の整備が求められています。

出雲・湖陵道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、島根県出雲市知井宮町から同市湖陵町三部に至る延長4.4kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しました。

平成24年度は、用地買収を推進します。

## 事業箇所図



出雲・湖陵道路



## 状況写真



大型車同士の衝突事故  
(H16.6発生 出雲市大島町地内)



事故に伴う渋滞



# 一般国道9号 湖陵・多伎道路

新規事業

資料 - 4

H24:100百万円

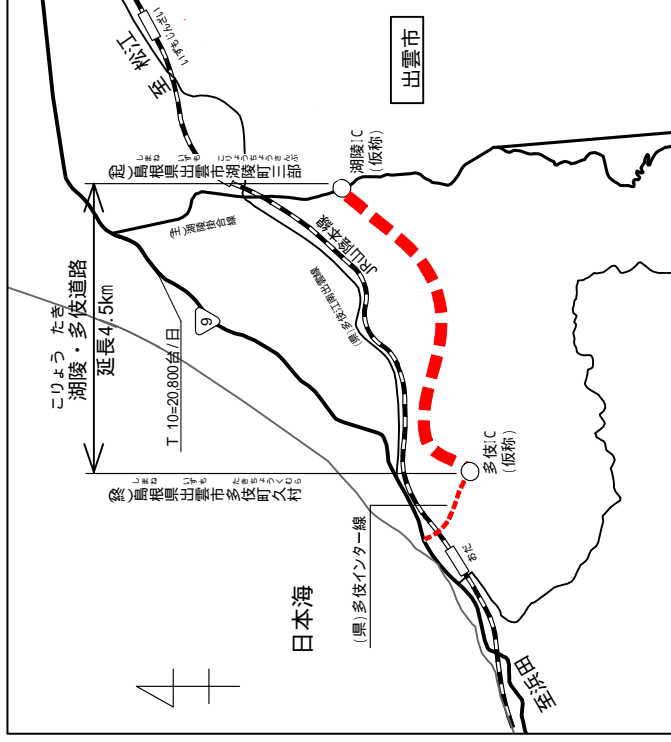
## 事業概要

一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く、通行止め時は大幅な迂回が必要です。また通行止め時は、日常生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路についても未確保の状況となっています。

一般国道9号湖陵・多伎道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした出雲市湖陵町三部から出雲市多伎町久村に至る延長4.5kmの道路です。

平成24年度は、測量に着手します。

## 事業箇所図



## 状況写真



トレーラーによる単独事故  
(H21.7発生 出雲市多伎町口田儀)



事故に伴う渋滞





# 一般国道9号 多伎・朝山道路

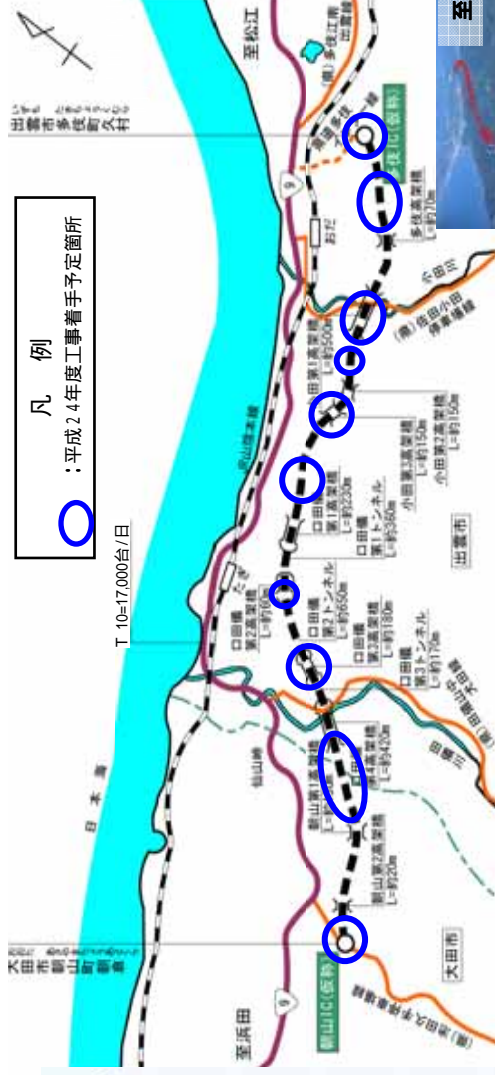
H24:2,940百万円

一般国道9号の出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、国道9号が全面通行止めとなる等、災害が頻発する区間ともなっています。

## 事業概要

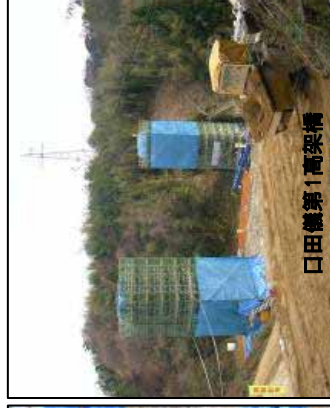
多伎・朝山道路は、このような課題を解決するため計画された道路で、島根県出雲市多伎町から大田市朝山町に至る延長9.0kmの自動車専用道路として平成18年度に事業化し、平成20年度には、調査設計を推進し、用地買収に着手しました。平成24年度は、文化財調査、改良工事、橋梁下部工事、橋梁上部工事を推進します。

## 事業箇所図



平成18年7月豪雨災害により国道9号に3.5時間の全面通行止め（片側交互通行7.9日間）

## 状況写真



# 一般国道9号 朝山・大田道路

H24:1,840百万円

一般国道9号の出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、国道9号が全面通行止めとなる等、災害が頻発する区間ともなっています。

朝山・大田道路は、このような課題を解決するため計画された道路で、島根県大田市朝山町から大田市久手町に至る延長6.3kmの自動車専用道路です。平成24年度は、文化財調査、改良工事、橋梁下部工事を推進します。

## 事業概要

## 事業箇所図



凡例  
○:平成24年度工事予定箇所

## 状況写真



積雪による大型車事故  
(大田市朝山町)



線形不良箇所  
(大田市朝山町 R=100m)



線形不良箇所  
(大田市朝山町 R=120m, i=5.0%)

平成18年7月豪雨災害により国道9号に35時間の全面通行止め  
(片側交互通行79日間)



至 松江

(H18.8.14撮影)



# おおだ しずま 新規事業 資料 - 7

## 一般国道9号 大田・静岡道路

H24:100百万円

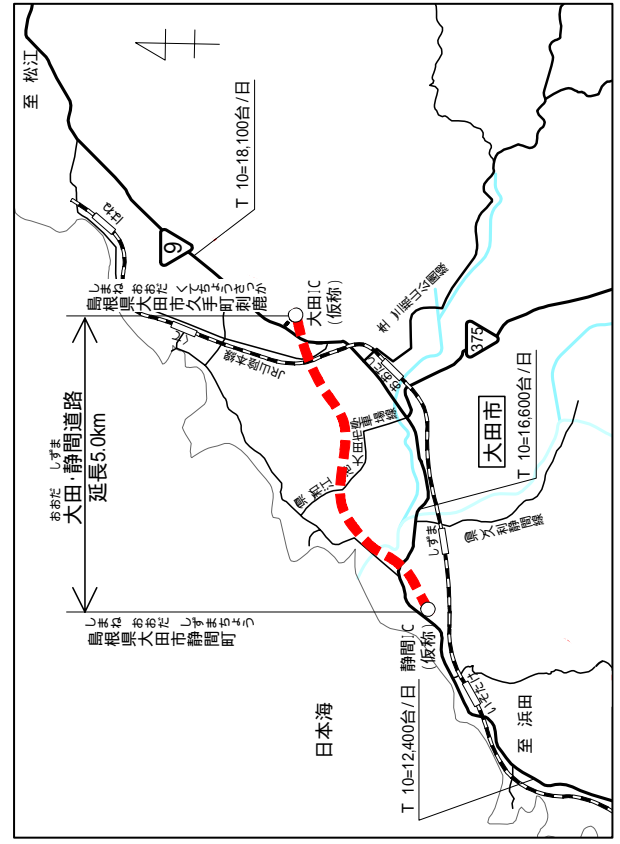
### 事業概要

国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く通行止め時は大幅な迂回が必要です。また通行止め時は、日常生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路が未確保の状況となっています。

一般国道9号大田・静岡道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした大田市久手町刺鹿から大田市静岡町に至る延長5.0kmの道路です。

平成24年度は、測量に着手します。

### 事業箇所図



### 状況写真



トレーラーと普通車の正面衝突事故 (H21.12発生 大田市朝山町)



事故に伴う渋滞





# 一般国道9号 静間・仁摩道路

事業推進

資料 - 8

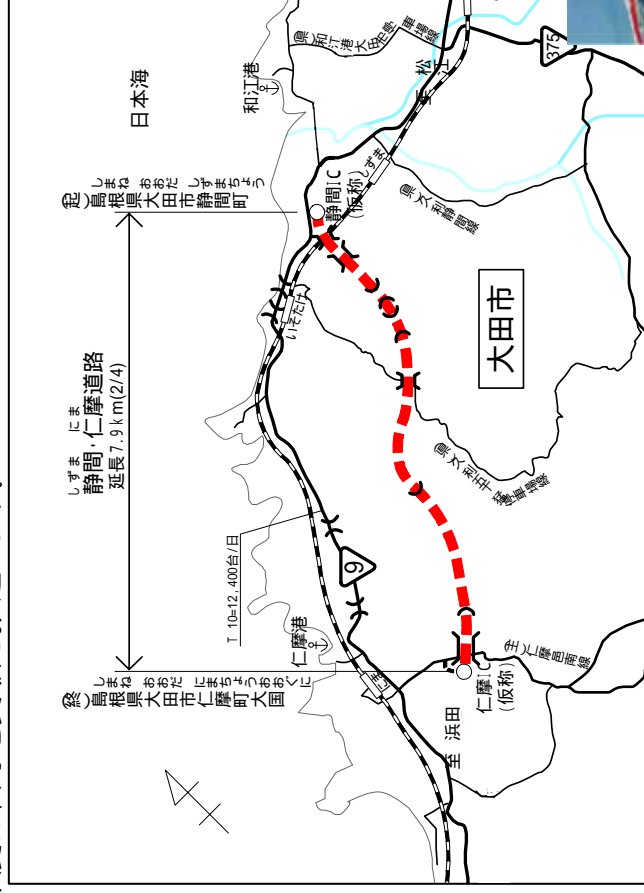
H24:500百万円

## 事業概要

一般国道9号の現道部は、急カーブや急勾配が連続する区間が多く、死亡事故につながる重大事故が発生しやすい状況にあります。また、国際規格コンテナ通行支障トンネルや、事故や災害時には通行止めが発生し、大幅な迂回が必要となるなど、早期の整備が求められています。

静間・仁摩道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、島根県大田市静間町から同市仁摩町大田に至る延長7.9kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しました。  
平成24年度は、用地買収を推進します。

## 事業箇所図



## 状況写真



大型車の事故で約2時間全面通行止め  
(H16.6発生 大田市静間町)



建築限界が不足するトンネル  
(H19.5 宅野トンネル)



# 一般国道9号 仁摩・温泉津道路

資料 - 9

## 事業推進

### 事業概要

一般国道9号仁摩・温泉津道路は、大田市内の交通隘路区間の解消及び交通安全の確保を目的とした、大田市仁摩町大国から同市温泉津町今浦に至る延長11.8kmの道路です。

平成24年度は、文化財調査、改良、橋梁、トンネル工事を推進し、平成25年度供用(湯里IC(仮称)～福光IC(仮称))及び平成26年度供用(仁摩IC(仮称)～湯里IC(仮称))を目指します。

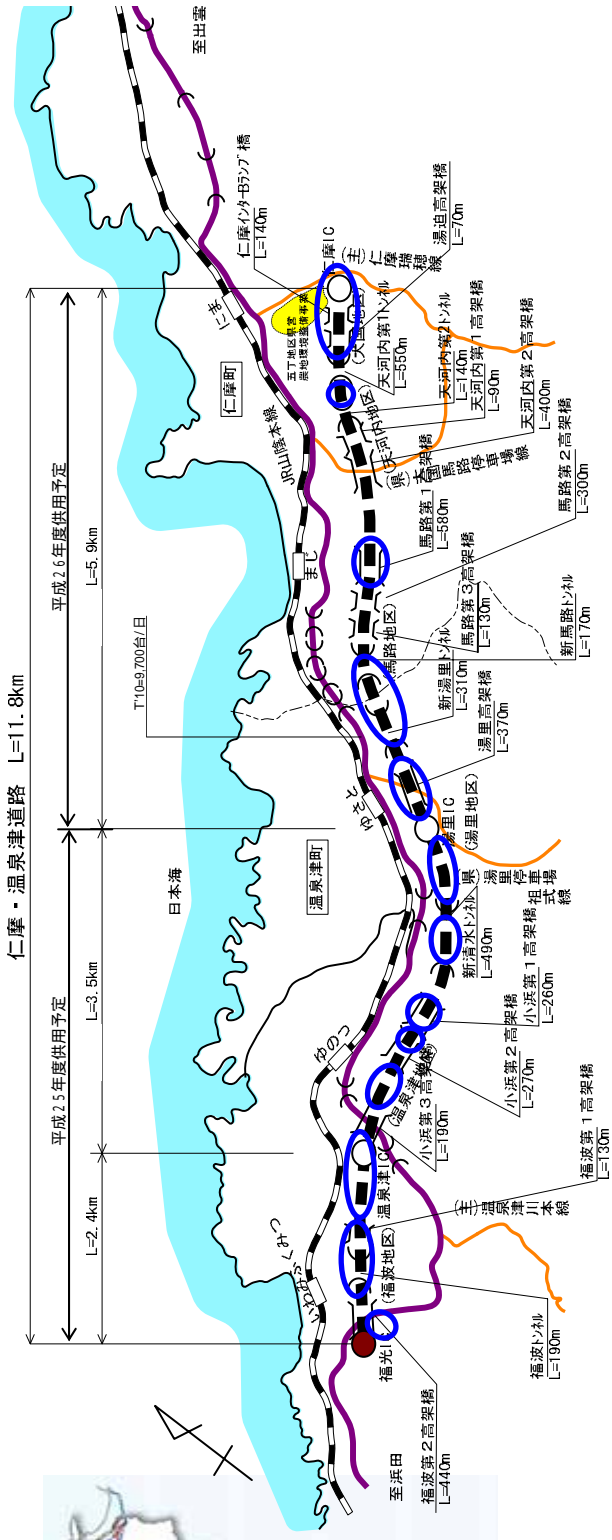
H24:5,740百万円

### 事業箇所図



仁摩温泉津道路

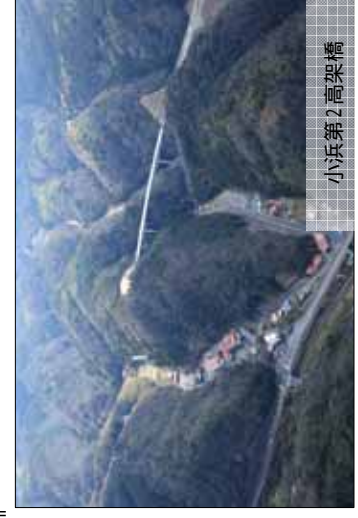
凡例  
○:平成24年度工事予定箇所



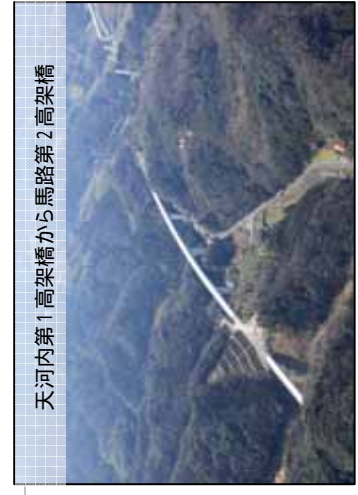
### 状況写真



温泉津IC(仮称)



小浜第2高架橋



天河内第1高架橋から馬路第2高架橋

# 一般国道54号 三刀屋拡幅

事業推進

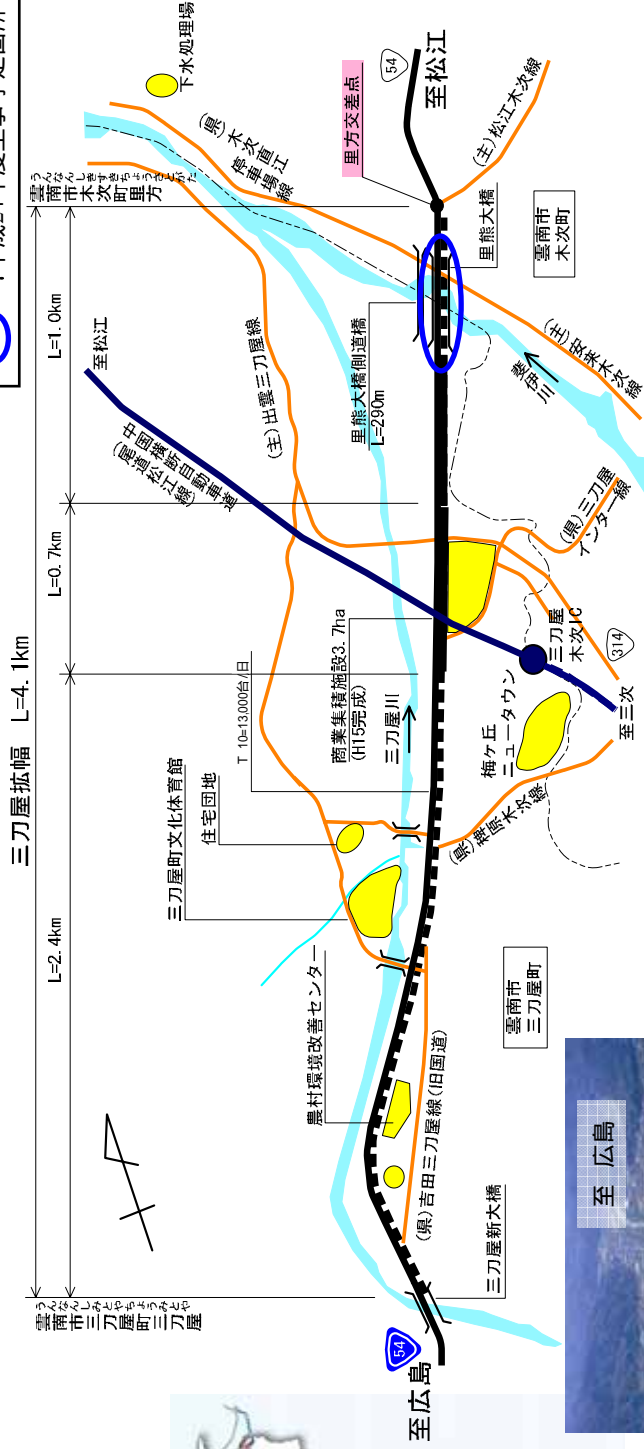
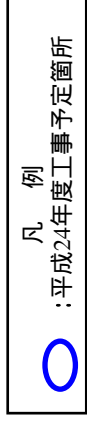
資料 - 10

## 事業概要

H24:386百万円

三刀屋町地内は中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICの開通や市街地の開発などにより車両、歩行者の安全確保等の課題が生じています。三刀屋拡幅は、このような課題に対し、交通安全性の向上を図り、周辺の土地利用を促進するなど、高速道路と連携した整備を進めています。  
平成24年度は、改良、橋梁下部工事を推進します。

## 事業箇所図



## 状況写真



上空より拡幅区間を望む(三刀屋町地内)



里方交差点付近 タフピーク時の状況



# 平成24年度 交通安全事業・電線共同溝事業

## 事業推進

### 交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間における学童等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、交差点における事故防止を目的として交通安全事業を進めています。

平成24年度は、新規事業3箇所(安来市吉佐町、大田市五十猛町、雲南市三刀屋町坂本～乙加宮)及び継続事業4箇所において、調査設計、用地買収、用地補償及び工事を推進致します。

### 電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び台風や地震時において電柱等の倒壊を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保するを目的とし、電線共同溝事業を進めています。

平成24年度は、継続事業箇所1箇所において完成を目指します。

H24 : 交通安全事業 1,398百万円  
電線共同溝事業 350百万円



凡例	
新規事業箇所	赤色
継続事業箇所	青色

# 【浜田河川国道事務所事業】

## 浜田河川国道事務所 事業箇所

番号	事業名	延長	供用(完成)・新規・事業推進	主な内容	資料番号
	一般国道9号 浜田・三隅道路	L=14.5km	事業推進	用地買収、橋梁工事等	付属資料 - 道路1
	一般国道9号 三隅・益田道路	L=15.2km	新規事業	測量	付属資料 - 道路2
	一般国道9号 直地防災事業	L= 1.8km	完成	改良工事、舗装工事	付属資料 - 道路3
	島根9号交差点改良等	N=7箇所	新規事業及び事業推進	調査設計、用地買収、工事	付属資料 - 道路4



# 一般国道9号 浜田・三隅道路

事業推進 付属資料 道路1

H24:2,940百万円

## 事業概要

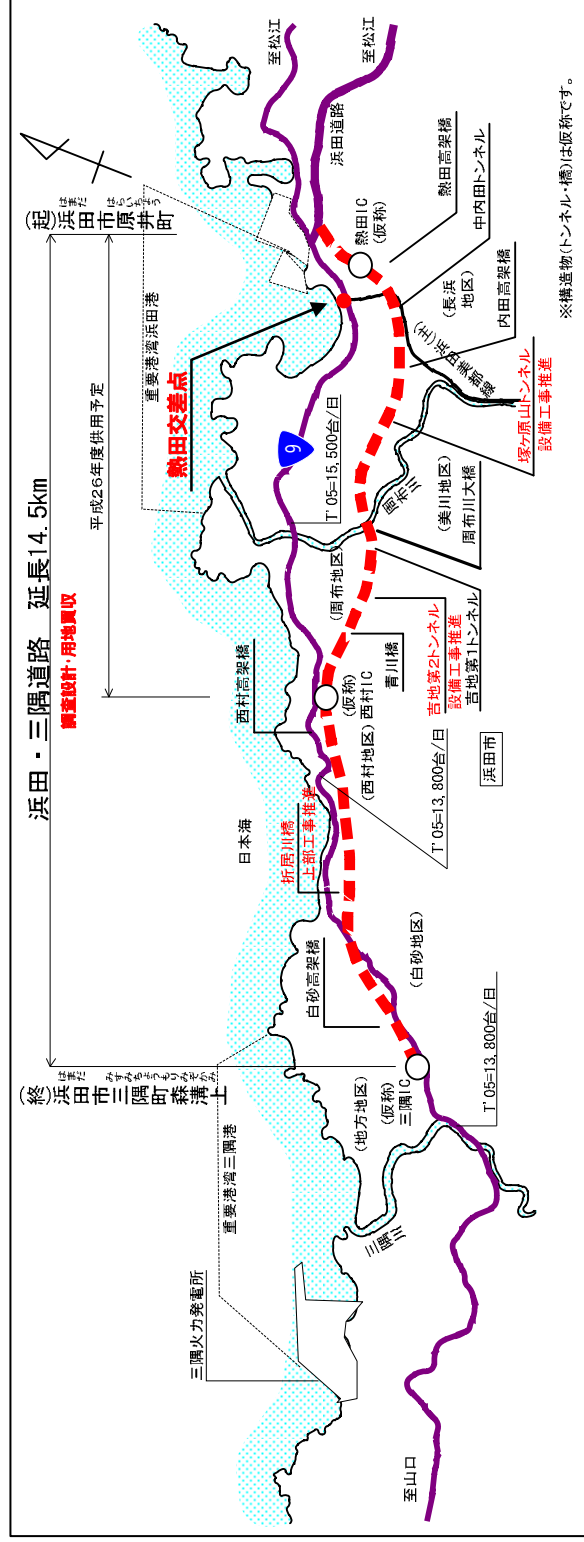
一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の幹線道路ですが、当該地区の浜田市原井町～浜田市三隅町森溝上間には、急勾配・カーブの連続する隘路区間や多くの防災対策必要箇所、また主要渋滞ポイントの熱田交差点が存在しており、地域の生活に大きな影響を与えています。

浜田・三隅道路は、一般国道9号のバイパスとして計画された延長約14.5kmの道路で、これらの問題点を解消するとともに、災害等緊急時における代替ルートの確保が図られます。また、国道9号等の幹線道路と連携し、広域交通の分担を図ることにより、沿線地域の産業振興や観光開発を促進し、生活圏域の拡大など地域経済の発展と活性化に大きく寄与します。

平成16年3月に都市計画決定され、平成16年度から事業着手しています。

**平成24年度は、調査設計・用地買収及び、折居川橋の上部工事、塚ヶ原トンネルと吉地第2トンネルの設備工事、改良工事等を推進し、熱田IC(仮称)～西村IC(仮称)については、平成26年度に供用を図る予定です。**

## 事業箇所図



## 状況写真



(H24.3撮影)

白砂高架橋 整備状況



(H24.3撮影)

吉地第2トンネル西側坑口 整備状況



(H24.3撮影)

熱田IC(仮称)部 整備状況

# 一般国道9号 三隅・益田道路

新規事業

付属資料 道路2  
H24:100百万円

## 事業概要

一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の幹線道路ですが、当該地区の浜田市三隅町～益田市遠田町間には、急勾配・カーブの連続する隘路区間や多くの防災対策必要箇所が存在しており、地域の生活に大きな影響を与えています。

三隅・益田道路は、一般国道9号のバイパスとして計画された延長約15.2kmの道路で、これらの問題点を解消するとともに、災害等緊急時における代替ルートの確保が図られます。また、第3次医療施設への到達性が確保され、医師不足が深刻な地域の病院間の連携が強化されます。平成22年10月に都市計画決定され、今年度から事業に着手します。

**平成24年度は、測量に着手します。**

## 事業箇所図



## 状況写真



国道9号現況写真（線形不良箇所）



国道9号現況写真（交通事故状況）



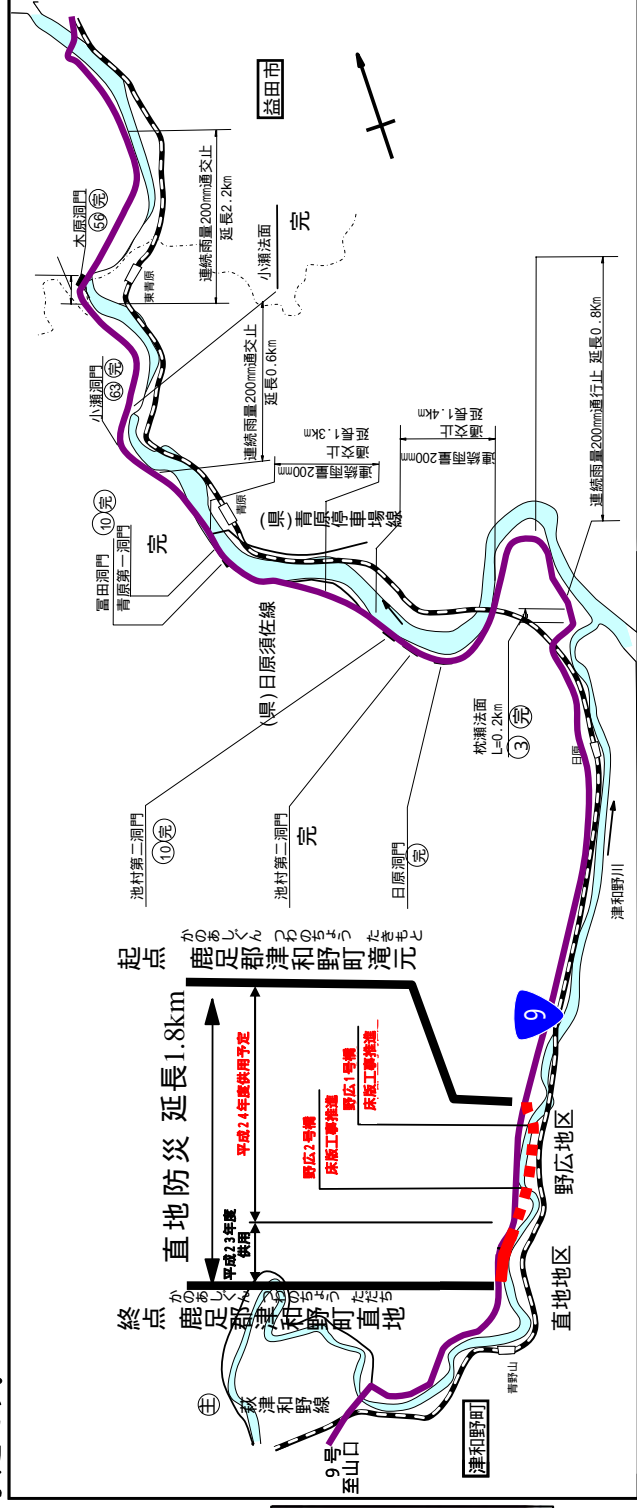
## 事業概要

一般国道9号の鹿足郡津和野町滝元～直地においては、災害時の代替路線がない唯一の幹線道路で、地形的にも斜面が急峻で落石・崩壊に対する安定性が十分でないため、防災対策が必要です。

直地防災事業は、道路の防災と安全のさらなる向上を目的とし、当該箇所を迂回するルートを整備するため、平成11年度から事業着手したものです。平成15年度から直地地区の法面工事に着手しています。

平成24年度は、野広1号橋と野広2号橋の床版工事、野広地区の改良工事、舗装工事を推進し、全線供用を図る予定です。

## 事業箇所図



一般国道9号津和野町直地付近の急峻な地形



直地地区



野広地区



野広1号橋

山口方面を望む



# 交通安全事業

新規事業・事業推進 付属資料 道路4

H24:1,041百万円

## 事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間において、交通事故対策の推進および安全で快適な歩行空間の構築を目指し、主に通学路に指定されていないながら歩道が未設置もしくは歩道が狭い箇所を重点的に歩道等の整備を行う交通安全事業を進めています。

平成24年度は、江津市江津町、浜田市国分町、益田市土田町、益田市木部町大浜、益田市遠田町、益田市乙吉町、益田市横田町の計7箇所において、調査設計及び用地買収・工事を推進し、4箇所について完成を目指します。

## 事業箇所図



益田市横田町



益田市乙吉町



浜田市国分町

港 灣 關 係 事 業

## 予算総括表

[単位:百万円]

事業別	港名	平成23年度事業費 (当初)	平成24年度事業費 (当初)	対前年度比	備考
港湾	浜田港	810	1,000	1.23	臨港道路の整備 防波堤(新北)の整備

事業費はいずれも年度当初予算額であり、業務取扱費を含まず



## 【浜田港福井地区臨港道路】(新規着手)

### 事業概要

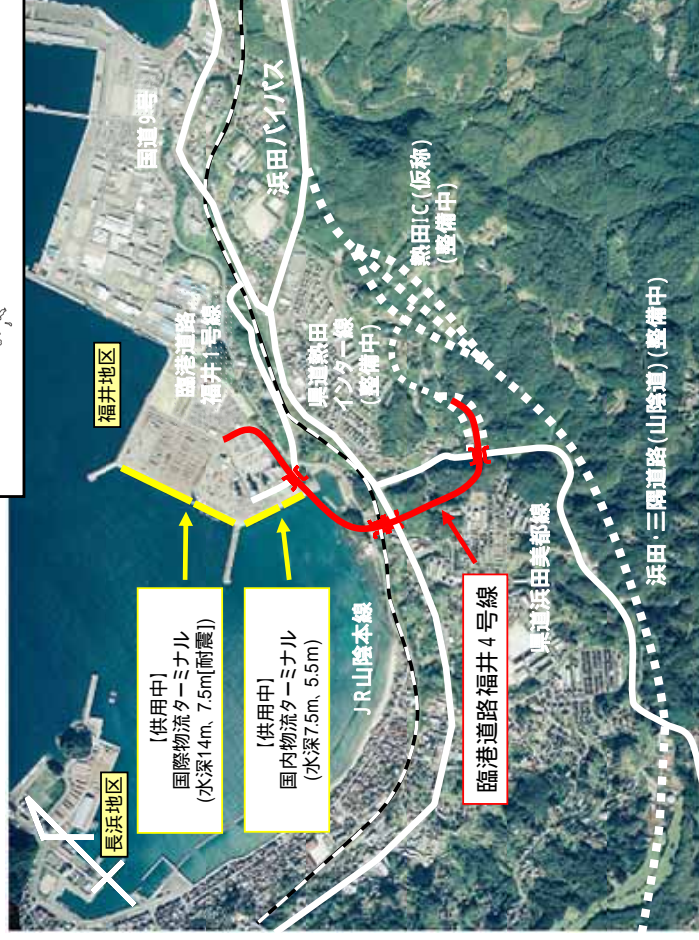
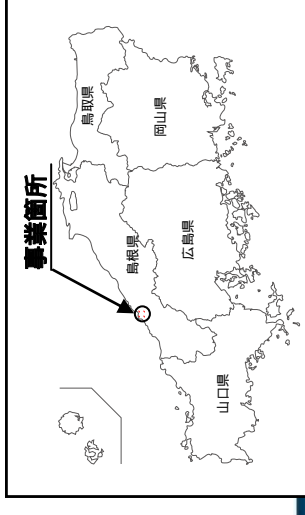
浜田港福井地区は、国際コンテナ貨物や、石炭、原木等を扱う主要埠頭であるが、既存の臨港道路福井1号線は、混雑の激しい幹線国道に接続していることから、渋滞にともなう輸送コストの負担増を強いています。加えて、将来増加が見込まれる貨物量に鑑みると、既設臨港道路の交通容量不足が深刻化し、利用企業の競争力の低下等が懸念されています。

このため、浜田港周辺で整備が進められている山陰道等の道路ネットワークと連携し、更なる増加が見込まれる貨物を、安全かつ効率的に輸送するため、臨港道路福井4号線の整備に着手します。なお、平成24年度は、現地工事着手に向け、調査・設計を実施します。

### 期待される整備効果

本事業により、山陰道等の高速道路ネットワークの効果を最大限に活用することが可能となり、輸送コストの削減、各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模地震発生時には、背後圏の経済活動をできる限り早期に回復することに寄与します。



至 益田方面

至 益田方面

(暫称IC(仮称)経由)

至 広島出雲方面

## 【浜田港福井地区防波堤(新北)】(事業推進)

### 事業概要

浜田港は、島根県西部に位置し、セメント、原木、完成自動車(中古車)等を取扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしていますが、冬期風浪等の影響により、国際物流ターミナルでの安全かつ効率的な荷役作業に支障が生じています。

このため、福井地区において防波堤の整備を推進します。  
なお、平成24年度は、ケーソン据付等を実施します。

### 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じて安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性向上に寄与します。

